

名張市社会福祉法人連絡会での 外国人労働者交流会の開催

～共に生きる、共に働く、共に学ぶ～



FLOERS

名張市社会福祉法人連絡会

名張特別養護老人ホーム 施設長 田中 泰宏
特別養護老人ホーム国津園 施設長 布川 高宏

名張市社会福祉法人連絡会とは



名張市社会福祉法人連絡会

地域内で活動する複数の社会福祉法人が連携し、情報交換や協力を通じて地域福祉の向上を目指すための組織です。

- 地域福祉の向上**：高齢者、障がい者、児童など、福祉の各分野で活動する法人が連携し、地域の福祉ニーズに応える。
- 情報交換・交流**：会員法人同士が定期的に情報を共有し、課題解決に向けた意見交換を行う。
- 公益的活動の推進**：法人の専門性を活かし、地域住民と協働して公益的な活動を企画・実施。
- 地域づくりへの貢献**：「住みやすい、安心して暮らせる地域」の実現を目指す。

名張市社会福祉法人連絡会の概要



名張市社会福祉法人連絡会

■ 市内13法人が連携（令和2年度発足）

名張市社会福祉法人連絡会は、令和2年11月に発足致しました。名張市内の社会福祉法人が連携し、地域福祉の向上を目指して活動しています。

会員事業所

設立目的

- (1)各法人が取り組む地域課題や福祉課題を「つながる」ことで共有。
- (2)経験や知識を分かち合い、地域貢献の質を高める。
- (3)地域の安全・安心、福祉の向上に寄与する。

背景

社会の変化に対応するため、福祉法人も経営努力と地域貢献の両立が求められている。地域福祉の担い手として、法人間の連携・協働が重要視されている。



名張厚生協会



名張育成会



弘仁会



グリーンセンター福祉会



おきつも福祉会



こもはら福祉会



鶯鳴会



敬親会



東海宏和福祉会



敬峰会



サンフラワー名張



つつじ会



名張市社会福祉協議会

名張市社会福祉法人連絡会のこれまでの主な活動

FLOWERS

名張市社会福祉法人連絡会

■ 地域課題・福祉課題の共有

「災害時における相互支援に関する協定」調印
法人活用ガイドの作成



地域住民向けに講座や相談会を開催。備品（テント、施設など）の貸し出し。

市民向け講演会「ヤングケアラーについて知っていますか?」を開催

福祉避難所開設運営訓練の開催について

職員研修会の開催：福祉職員の育成と多様性理解の促進。

■ 「つながり」を通じた地域貢献の土台づくり

中学校「働く人から学ぶ会」に講師を派遣

「中高生・夏休み福祉の職場体験」「大人の学び直し・福祉の職場体験」を実施



名張市法人連絡会HP
QRコード

■ 高齢化による介護ニーズの急増

65歳以上人口の割合は年々上昇し、全国平均で29%以上となっている。
名張市は2020年時点で32.8%と、すでに全国平均を4ポイント以上上回っています。
2050年には45.6%に達する見込みで、住民の約2人に1人が高齢者となる計算です。
三重県全体も高齢化が進行しており、名張市は県内でも特に高い水準であり、名張市内の高齢者支援ニーズも多様化・複雑化している。

■ 各法人における介護人材確保の困難

名張市の最新の推計人口は約72,377人で、ピーク時の83,291人から減少傾向にあり、2050年には、50,394人になる予測で30%減少の見込み。若年層の流出や出生数の減少が、人口減少の主な要因とされています。



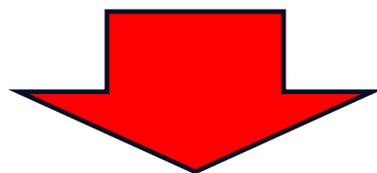
今後さらに介護人材の確保が困難

■ 外国人労働者受け入れの背景

- ・ 少子高齢化により国内の労働人口が減少
- ・ 2040年に約57万人の介護職員が不足する予測（厚生労働省）
- ・ 地方では求人倍率が非常に高く、採用が困難
- ・ 地域格差を埋める即戦力として外国人材が貢献
- ・ 制度の多層化：EPA、技能実習、特定技能、在留資格「介護」など複数のルートが整備され、施設のニーズに応じた選択が可能になった
- ・ 在留資格の柔軟化：特定技能→介護資格への移行や、永住資格取得の道が開かれつつある
- ・ 支援体制の拡充：登録支援機関、定着支援事業、介護日本語教育などが制度的に整備されてきた
- ・ 地域への広がり：都市部だけでなく地方施設でも雇用が進展。

■ 外国人労働者受け入れの進展

福祉施設における外国人労働者の雇用は「一時的な対策」から「持続可能な人材確保戦略」へと進化しており、名張市社会福祉法人連絡会の会員法人の半数以上の法人が技能実習生や特定技能等の制度を利用し、外国人労働者の雇用を行っていることがわかった。



介護施設への外国人労働者受け入れが進展する中で、現場ではさまざまな課題が顕在化している事がわかった。

各法人において外国人労働者が不安や悩みを持つことなく仕事や日常生活を送るようになるためにはどうしたらよいのか？

1. 言語の壁

- ・ 日常会話や業務指示が理解できないことで、孤立感や業務ミスにつながる
- ・ 方言や専門用語が多い介護現場では特に難易度が高い

2. 文化・習慣の違い

- ・ 食事、時間感覚、衛生観念などの違いに戸惑う
- ・ 宗教的慣習（礼拝、服装、食事制限など）への配慮が不足することも

3. 孤独感と疎外感

- ・ 地元の人との交流が少なく、精神的な支えが得られにくい
- ・ 「誰も自分を理解してくれない」と感じる瞬間がある

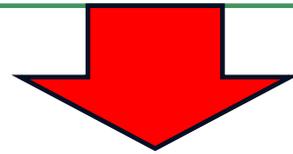
4. 制度や生活環境への不安

- ・ 在留資格や契約条件の理解不足
- ・ 住居、交通、医療など生活インフラへの不慣れ

5. 将来への不透明感

- ・ 雇用の継続性やキャリア形成が見えにくい
- ・ 家族との再会や母国への帰国のタイミングなど、人生設計に悩む

異国の地で感じる不安は、言語や文化の違いだけでなく、「自分の居場所がない」と感じる孤独や無力感から生まれることが多く、特に介護や福祉の現場で働く外国人労働者にとっては、生活と仕事の両面で不安が重なりやすい状況である。



孤独感と疎外感を無くし、安心して仕事に取り組み、楽しく生活をしてもらいたい
受け入れ側が文化や習慣の違いを理解し、配慮を行う必要がある

■ 交流会の開催

外国人労働者の方々が住みやすく、働きやすい環境で長く滞在していただければと願い、日本の異文化に対する理解と認識を深め、言語や生活・習慣等の相違を超えた心と心のふれあいをもたらすことを目的として交流会を開催させていただき運びとなりました。

■ 交流会の内容

1. 名張中央ロータリークラブとの合同開催

ロータリークラブは、地域社会や国際社会に貢献する奉仕団体として、外国人との交流活動にも積極的に取り組んでいる事と、地元名張の人たちとの交流を行う事ができればと考えて合同開催とした。

参加者：名張中央ロータリークラブ 12名

外国人労働者 27名 ベトナム、タイ、ミャンマー、インドネシア

付き添い職員 9名 役員 4名 事務局 3名

交流会の取り組み内容

FLOWERS

名張市社会福祉法人連絡会

■ 交流会の内容

2. 昼食にて交流会

昼食は日本の食文化も感じれるよう日本食のお弁当を食べていただきました！



交流会の取り組み内容

FLOWERS

名張市社会福祉法人連絡会

■ 交流会の内容

2. 文化交流

日本の伝統文化を知っていただくために、箕曲地区瀬古口獅子保存会の皆さまに日本の伝統文化である獅子舞をご披露いただきました！



交流会の取り組み内容

■ 交流会の内容

3. 文化交流 外国人労働者のお国自慢と自己紹介

外国人労働者を受け入れる私たちが文化や習慣の違いを理解するために、お国自慢と題して、各国の紹介をさせていただき、参加者の皆さまにも一緒にお国紹介をしていただきました！また、自己紹介も行っていただきました！



交流会の取り組み内容

■ 交流会の内容

3. 文化交流 外国人労働者のお国自慢と自己紹介



ベトナムってどんな国??

ベトナムという国の特徴は？
ベトナムの人々は一般的に、おおらかで人情味があり、純粋な性格という傾向があります。アジア人特有の人懐っこい性格かつ、ハングリー精神からくるタフな面も持ち合わせています。積極的で、我慢強く、物事を最後までやり遂げる、優秀な人が多いのも特徴です。



ミャンマーってどんな国??

ミャンマーは何が有名ですか？
ミャンマーのおすすめ観光スポット総合ランキング
・1位 バガン遺跡 40kmもの広大な敷地を持つ世界遺産の寺院。 ...
・2位 ゴールデンロック チャイティーヨー 山頂の崖にある不思議な石。 ...
・3位 シュエダゴン・パゴダ ...
・4位 カックー遺跡 ...
・5位 ポッパ山 ...
・6位 インレー湖 ...
・7位 マンダレー王宮



インドネシアってどんな国??

インドネシアの有名な文化は？
代表的なものとしては、インドの叙事詩などを題材にした人形の影絵芝居「ワヤン」や、ゴングやガンパン（木琴）などで独特の響きを奏でる「ガムラン」、ジャワ更紗として有名な染色工芸の「パティック」など。長い歴史に裏打ちされた伝統文化が、今も生活の中に根付いて存在している。



タイってどんな国??

タイの有名な食べ物

- ・日本でも人気「ガバオライス」
- ・まろやかな辛さ「プーパッポンカレー」
- ・軽食にも「カノムジーン」
- ・タイの焼きそば「パットタイ」
- ・カレーラーメン「カオソーイ」
- ・辛さマイルド「トムカーガイ」
- ・パパイヤのサラダ「ソムタム」
- ・タイの焼き鳥「ガイヤーン」



交流会の取り組み内容

■ 交流会の内容

4. 交流 ビンゴゲーム

参加者の皆様がお互いの交流を深めていただけるようビンゴゲームを実施しました。
ビンゴの景品は、外国人労働者が日常生活で利用できるものを選定しました！
人気の景品は、お米や美容品等でした！参加者の皆様とても喜んでいただけました！



参加者の声

FLOWERS

名張市社会福祉法人連絡会

参加者の声：「文化紹介ができて嬉しかった」
「他国の文化を知るのが楽しかった」
「地域とのつながりを感じられた」
「他の施設で働く方と交流ができて良かった」 等



■ 不安・悩みの軽減

今回の交流会を通じて、名張市内で同じ境遇で働く仲間存在を感じれた事、また交流が図れた事により仕事をする上や生活の上での不安や悩みの軽減を図る事が出来た。

■ 地域で“ともに生きる” 実感の醸成

今回の交流会を通じて、名張中央ロータリーの皆様や関係者からの歓迎を受けた事で、地域でともに生きることの実感が醸成された。

■ 交流会の継続開催による定期的支援

今後も各施設において外国人労働者の受け入れが進んでいく中、今回実施した交流会を継続して実施していく事で、市内で働く外国人の方々が安心して仕事や生活が行える状況を創る。

■ 法人を超えた合同研修会の実施

外国人労働者への教育・育成についても課題がある中で、施設単独での研修は限界があるため、合同研修会を実施していく。

■ 外国人労働者が安心して働ける環境の構築

各施設で外国人労働者の受け入れについての課題等を共有し、連携を行う事で課題の解決を図っていく。

介護人材の確保が困難である現状は今後益々大きな課題となってきます。

そうした中で、今後更に外国人人材の役割は大きくなります。

私たちは、外国人労働者が働きやすい環境をつくるために、支援体制の充実を図る必要があると感じます。

国内の労働者と外国人労働者の共生を図る事が必要であると考えます。

「共に生きる、共に働く、共に学ぶ」 の実践が重要です。



名張市社会福祉法人連絡会



名張市法人連絡会HP
QRコード

ご清聴ありがとうございました。